

高知県安芸郡東洋町の定置網で得られたアカメの記録 (スズキ目：アカメ科)

長野博光*

Notes on the Japanese lates *Lates japonicus* (Perciformes: Latidae)
caught by set net off Tôyô Town, Kochi Prefecture

NAGANO Hiromitsu*

Key words: *Lates japonicus*, set net, new record, east coast of Kochi Prefecture

2012年11月に四万十市在住の瀧本憲一氏から、東洋町の甲浦漁港にアカメ科のアカメが水揚げされているようであるという情報が著者に寄せられた。高知県内においてはそれまで、室戸岬から安芸郡東洋町甲浦北端に至る東部海域でのアカメの記録はなかった (Iwatsuki *et al.*, 1993 ; 木下・岩槻, 1996 ; 岡村, 2002)。

この情報をきっかけとして、東洋町沖の定置網でアカメが漁獲されていることが著者により確認された。これは高知県下のアカメの分布に関する新知見であり、また、定置網で連続的に漁獲されたアカメに関する情報は全国的にきわめて稀なことから、以下に甲浦漁港で得られたアカメと漁協の記録に基づく漁獲状況を報告する。

甲浦漁協によれば、アカメは甲浦漁港から約2.6km 南南東に位置する東洋町生見の松ヶ鼻 (33°31'13" N, 134°17'23" E) の沖に設置された小型定置網に入網する。図1に小型定置網の設置場所を示す。アカメは例年20個体ほど漁獲されるが、入網するのはおもに11月と12月であり、1月になるとほとんど漁獲されなくなる。また、2統設置されている定置網のうちアカメが入網するのは決まって沖合の網であり、沖合の網でも岸からの距離は数百 m とのことであった。この定置網は高知県下で一般に小敷網と称されている規模である。

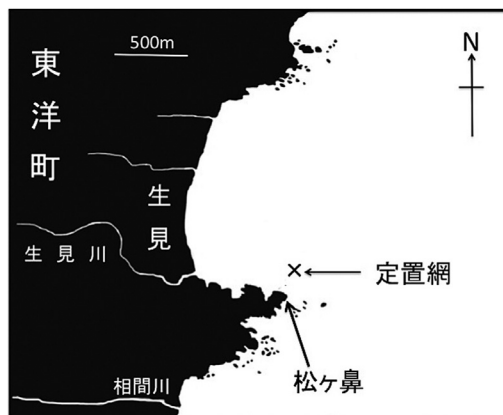


図1. 松ヶ鼻近くに設置された小敷網のおよその位置を×で示す。岸からの距離と2統間の厳密な距離は不明。

著者が甲浦漁港でアカメを確認したのは2012年11月12日である。著者が漁港に到着した時、個体はすでに落札され、生け簀に入れられていた (図2)。したがって、全長ないし標準体長を測定することはできなかったが、競りの前の計量では体重6.4kgと記録されていた。Iwatsuki *et al.* (1993) はアカメの体重 (BW, g) と全長 (TL, mm), 全長と標準体長 (SL, mm) の関係について以下の回帰式を提示している。

$$BW=6.90 \times 10^{-6} \times TL^{3.12}$$

$$TL=1.2 \times SL + 3.2$$

これらの回帰式から図2の個体の標準体長は621mmと推定された (表1)。

*〒784-0031 高知県安芸市穴内甲1470
1470 Kô, Ana-nai, Aki 780-0031, Japan



図2. 2012年11月12日に水揚げされ、水槽に収められたアカメ。

表1. 2012—2013年度の甲浦漁協でのアカメの水揚げ記録

漁獲年月日	総個体数	SL 推定値(mm)	総重量(kg)
2012年10月31日	3		16.8
2012年11月 2日	1	717	10.0
2012年11月 5日	1	627	6.6
2012年11月 7日	3		21.4
2012年11月 8日	3		18.6
2012年11月 9日	1	627	6.6
2012年11月11日	3		16.2
2012年11月12日	1	621	6.4*
2012年11月25日	1	521	3.7
2012年11月26日	3**		12.4
2012年12月17日	1	608	6.0
2012年12月19日	1	521	3.7
2013年 1月 8日	1	538	4.1
2013年11月 7日	1	608	6.0
2013年11月18日	2		11.6
2013年11月19日	不明		14.8
2013年11月20日	4		42.4
2013年11月25日	不明		12.0
2013年11月28日	不明		30.6
2013年11月29日	不明		8.8
2013年12月13日	2		17.0
2013年12月18日	不明		15.4

*漁協職員による計量値, **著者が入手した標準体長実測値682mmの1個体を含む(この個体の推定体重8.6kgは本表の総重量には含まれていない)。

その後、2012年11月26日に、同漁港に水揚げされたアカメ1個体を落札してもらい、著者が入手した。この個体の標準体長は682mmであったが、体重の測定を失念していたため Iwatsuki *et al.* (1993) に基づき体重は8.6kgと推定された。

高知県下の沿岸で定置網により漁獲されたアカメの個体数と重量に関する報告はこれまでにない。そこで、2012年10月31日から2013年1月8日までの間に甲浦漁協が取り扱ったアカメの記録を提供してもらった。水揚げされたアカメは仲買人を介して流通している。そのため、体重(複数個体の場合は総重量)の記録は伝票に残されているものの、著者が確保した個体以外の標準体長は不明である。ただし、1個体のみの入札であった場合に限り、Iwatsuki *et al.* (1993) に基づいて体重から推定した標準体長を示す(表1)。

本研究以前にアカメが定置網で一定期間に漁獲されたという報告は、Iwatsuki *et al.* (1993) に

よる宮崎県日南市南郷町(旧南那珂郡南郷町)沿岸での例しかない。ただし、両地区の網の規模が不明で、また、設置されている統数が異なることから、漁獲量と個体数に関する直接的な比較は困難である。しかしながら、日南市では1987年から1991年の間、アカメの漁獲はほぼ11月から2月に限られており(Iwatsuki *et al.*, 1993)、この傾向は東洋町での漁獲時期である10—12月とほぼ一致する(表1)。また Iwatsuki *et al.* (1993) は、1987年から1991年に日南市の小型定置網で得られたアカメの体重は0.5から数kgで、体重5kg以上の個体は漁獲されず、総重量は多い月でも10kgほどであったとしている。東洋町で漁獲された、確実な1個体ごとの体重をみると、3kg以下の個体の入網は無く、3kgから5kgまでが3個体、5kg以上10kgまでが6個体であり、東洋町の方が全体的に大きいと判断される(表1)。

本研究により高知県沿岸におけるアカメの記録の空白は埋めることができたが、東洋町で確認されたアカメがどこの汽水域で仔稚魚期と未成魚の初期段階を過ごし、また、どのようなルートで回遊しているのかの解明は今後の課題である。

謝辞：本稿作成にあたりご指導いただいた町田吉彦高知大学名誉教授に感謝いたします。また、情報を提供していただいた瀧本憲一氏、調査にご協力いただいた甲浦漁協の皆様、特にお世話になった漁協職員の山本和幸氏に厚く御礼申し上げます。

引用文献

- Iwatsuki, Y., K. Tashiro and T. Hamasaki. 1993. Distribution and fluctuations in occurrence of the Japanese centropomid fish *Lates japonicus*. *Japan. J. Ichthyol.*, 40: 327-332.
- 木下 泉・岩槻幸雄. 1996. アカメ スズキ目アカメ科. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (III). pp. 103-106, 158-159. 日本水産資源保護協会, 東京.
- 岡村 収. 2002. アカメ. (高知県レッドデータブック[動物編]編集委員会編: 高知県レッドデータブック[動物編]), pp. 176-177. 高知県文化環境部環境保全課, 高知市.

(原稿受理: 2014年9月24日)